

福岡市立脇山小学校父母教師会

〒811-1111 福岡市早良区脇山 2558
T E L 092-804-2805

1 会員数および会費(平成 22 年度)

区 分	P 会 員	T 会 員	計
会 員 数	79 人	19 人	98 人
1 人あたりの会費(年間)	第 1 子 6,000 円 第 2 子 3,600 円	6,000 円	

2 収支決算(平成 21 年度)

収入の部	会費収入 686,800 円	その他の収入 198,833 円	収入合計 885,633 円
支出の部	区 分	支 出 額	摘 要 (主な使途)
	事 務 費	38,141 円	事務用備品・パソコン備品・プリンター・印刷機備品
	広 報 費	12,664 円	広報紙他
	学校後援費	33,882 円	行事費
	そ の 他	571,193 円	委員会活動費・研修費・旅費通信費
	繰 越 金	229,753 円	
	計	885,633 円	

3 設けられている会則、運営規則、会計規則

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
1. 福岡市立脇山小学校父母教師会規約	昭和 4 2 年 5 月 2 2 日	施行
	平成 1 6 年 4 月 2 3 日	一部改正
2. 福岡市立脇山小学校父母教師会細則	昭和 5 9 年 5 月 2 9 日	施行
	平成 1 7 年 4 月 1 日	一部改正

4 発足から今日までのあゆみ

年 月	P T A の沿革(活動のトピックスのみ記載)
明治 2 3 年 4 月	脇山尋常小学校開校
昭和 2 2 年 4 月	学制改革により脇山小学校と改称する
平成 元年 1 1 月	創立 1 0 0 周年記念式典挙行
平成 1 6 年 7 月	九州ブロック P T A 協議会表彰受賞
平成 1 7 年 1 1 月	日本 P T A 全国協議会表彰受賞
平成 1 8 年 1 1 月	福岡市教育委員会表彰受賞
平成 2 1 年 1 1 月	福岡県教育委員会表彰受賞
平成 2 2 年	創立 1 2 0 周年記念事業開催
平成 2 2 年 1 1 月	優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

本校は福岡市の南端に位置し、まわりを背振山・荒平山・油山等四方を山々に囲まれている。初夏には、学校の敷地内に流れている川に蛍が飛び交い、初秋には彼岸花が咲き乱れる山紫水明の地である。したがって子どもたちはいつも四季折々の自然にふれることができ、教育環境として非常に恵まれている。

校区内には、昭和天皇即位の大礼の際に献上される米が作られた、主基斉田跡が公園として整備され、当時早乙女たちがお田植えの際に舞った「お田植え舞」が自治協議会文化部によって子どもたちにも継承され、田植え、地域行事の際には披露されている。また、栄西禅師が唐より持ち帰り植えたとされるお茶の原木が今も残っていて、自治協議会女性部により子どもたちにお茶作りの伝承が行われている。

平成 22 年には創立 120 周年を迎え、古い歴史と伝統を誇り、親子三世代本校出身者の家庭も多く、学校を大切にする思いは強く、学校に対する協力は惜しまない地域である。小規模校でしかできない体験、この地域にしかできないことに重点を置き、学校・保護者・地域一体となって子どもたちを健全に育てている。

6 組織運営の状況

本校 P T A は、会長 1 名、副会長 3 名、書記 1 名、会計 1 名、学校長、教頭、教務主任からなる役員会と、運営委員会(各委員会の正・副委員長・各学年委員長)と専門委員会として、学年代表 12 名、広報 6 名、地域委員 7 名からなる各委員会を常設している。また役員選考委員会が会計監査委員を置く。役員、委員以外のほぼ全員の会員はふれあいフェスタ実行委員、もちつき大会実行委員などの協力委員として活動している。

年度末には次年度の専門委員を選出し、各クラスで新旧委員の引継ぎを行った後、次年度の委員総会において正・副委員長を選出、旧委員長より引継ぎを行い、新委員長を中心に新年度の活動予定を検討、計画する。

7 広報活動の状況

広報委員会は学校行事、P T A 行事などの取材活動をして、年 3 回広報誌「わきやま」を手作りで製作、発行している。平成 22 年度は創立 120 周年ということもあり、100 号を記念して 120 周年特別号を発行した。役員会は毎月の運営委員会の後に「運営委員会だより」を発行し、各委員会の活動報告や今後の行事、活動への参加の呼びかけを行っている。各委員会は活動報告として「委員会だより」を発行して、会員へ情報提供している。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

学校教育、家庭教育ならびに地域ぐるみで子どもたちの体験学習を支援している。

○1、2 年生は老人クラブの方々の協力により、芋苗植え、草取り、収穫、焼き芋パーティー。

○3 年生はうるち米の籾殻の発芽に始まり、田植え、稲刈り、陰干し、脱穀、精米、炊飯と一連の昔

ながらの米作り体験。

○4年生では八十八夜のお茶摘み、お茶の葉作り、紅茶作りを自治協議会女性部の方々の協力により実施。

○全学年でもち米の田植え、稲刈り、もちつき大会をJ A福岡市脇山支部青年部、自治協議会、オイスカ西日本研修センター、老人クラブの協力により実施。

校区合同運動会を自治協議会、学校、老人クラブ、PTAで実行委員会を組織し、親子三世代共有の行事として行っている。運動会当日は、オイスカ西日本研修センターの研修生も地域の一員として参加している。

学校環境整備として、草取り、校内・体育館の清掃作業などを学校・保護者・地域で協力して行っている。

学校・役員・委員・自治協議会・警察・民生委員などの方々の協力で、校区内の危険箇所点検(通学路・川など)を実施し、看板などの改修、取替え、新設を行っている。

人権学習講演会(年2回)と給食試食会を実施している。

9 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

夏休み前に危険箇所点検の報告を行い、子どもたちを取り巻く環境と安全確保並びに、夏休みの生活について話し合う地域懇談会を、保護者・校区内の諸団体の方々の協力をいただき実施している。

オイスカ西日本研修センターの外国人研修生との交流を支援し、交流の様子を写真などにより作成した「オイスカ新聞」を、公民館、郵便局、J A福岡市脇山支店へ掲示を行い、地域の方々へお知らせしている。またオイスカ子どもの森計画支援で、ベルマーク・書き損じはがきの収集活動を実施するなど、足元からの国際交流を推進している。

10 地域の教育環境の整備に関する活動

地域委員会を中心に校区内パトロールを実施し、児童の安全確保及び非行防止に努め、声かけを行っている。また「子ども 110 番の家」設置のお礼、ならびに継続、新設の依頼、看板の改修、取り替えなどの作業を毎年行っている。

役員・委員をはじめとする全会員が、入学式後3日間、2学期及び3学期始業式始めの3日間、また春・秋・年末の県警の交通安全週間にあわせて交通安全街頭指導を、また参観日・始業式・終業式にあいさつ運動を実施している。

11 今後の課題

平成22年度は創立120周年を迎え、「育てよう！郷土に学び郷土を愛する脇山っ子」をスローガンに掲げ、さまざまな記念事業を行った。今後もこのスローガンを基にして「地域の宝」である子どもたちを健全に育てていくために、学校・保護者・地域が連携を取りながら活動をしていきたいと考える。これからは会員全員が参加しやすい活動を考え、理解と協力をしてもらえるように努めていきたい。